




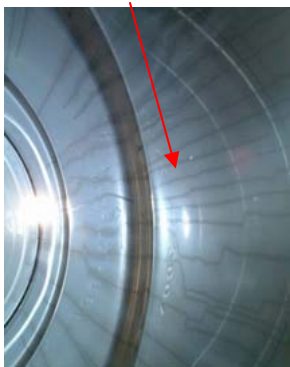


4-2. 密閉缶の例

1) 洗浄缶の内面外観評価(汚染物質による液ダレ模様)

【写真3】

型式	内面溝埋缶	エコドラム	外溶接缶
汚染物質残留状況			
			
評価	◎	○	× 汚染物残ダレ跡大

2) 洗浄缶内に溶剤を入れた場合の液着色状況と蒸発残渣

【写真4】

型式	内面溝埋缶	エコドラム	外溶接缶
抽出溶剤の外観			
評価	◎	○	× 汚染度大

ステンレスドラムの型式別洗浄性比較



JFEコンテナ株式会社

## ステンドラムの型式別洗浄性能

### 1. 緒言

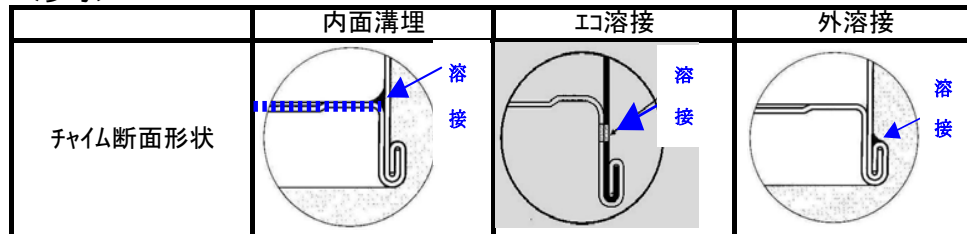
チャイム断面形状別にドラムの洗浄性能を評価するため、実ラインでの洗浄試験を行った。

### 2. 供試ドラム

◆200L: SUS304、2B仕上げ

缶種類	型式	胴体/天地板接合部の構造
オープン缶	内面溝埋缶	内面溝埋溶接
	エコドラム	エコ溶接
	外溶接缶	外側溶接
密閉缶	内面溝埋缶	内面溝埋溶接/天板側、エコ溶接/地板側(天地、逆も可能)
	エコドラム	エコ溶接
	外溶接缶	外側溶接

<参考>



### 3. 試験方法

缶種類	試験缶の汚染調製		洗浄試験条件
	汚染液	特性	
オープン缶	水性塗料	茶色・液状	洗剤水+ブラシ洗浄
密閉缶	オレイン酸	黄色・透明油状	洗剤水+噴射洗浄

#### 1) 洗浄前の缶の汚染

缶内に3Lの汚染液(上記)を入れ、回転等により充分に缶内面全体を汚染液で濡らした後、缶を密閉して14日間放置。

#### 2) 洗浄試験条件

実ラインの通常工程条件で洗浄試験(上記)を行い、洗い直しは無しとした。

#### 3) 洗浄缶のクリーン度評価

(1) 缶内外観観察 : 洗浄後の缶内残留汚染物状況を目視観察。

(2) 溶剤による缶内残留汚染物の抽出測定

・500mlの有機溶剤でドラム内を洗浄(2分間回転)することによって缶内残留汚染物を溶剤中に溶解抽出させ、同溶剤の汚染状況を測定。

【備考】

・溶剤の組成 : トルエン 63.4%、酢酸エチル 5~10%、メタノール 10~15%、酢酸ブチル 10~15%。

### 4. 試験結果

- ドラムの洗浄性は、オープン缶、密閉缶ともに缶内チャイム形状により大きく影響を受ける。
- この点から、チャイムの隙間のないU底缶、少ないエコドラムの洗浄性は良好である。
- これに対し、B(外溝埋溶接)缶のチャイム隙間は大きく、汚染物が残留し易いため、洗浄性は劣る。

#### 4-1. オープン缶の例

1) 洗浄缶の内面外観評価

【写真1】

型式	内面溝埋缶	エコドラム	外溶接缶
残留塗料状況			
評価	◎	○	× チャイム隙間塗料残

2) 洗浄缶内に溶剤を入れた場合の液着色状況

【写真2】

型式	内面溝埋缶	エコドラム	外溶接缶
抽出溶剤の外観			
評価	◎	○	× 汚染度大